



11月3日に高知県歯科医師会館で、令和7年度高知県いい歯の表彰式が行われました。この表彰は「8020運動」にちなみ、80歳以上で、噛むことのできる自分の歯が20本以上ある方が、口腔診査を経て選ばれます。

今回、香美市からは5名の方が受賞し、その中で、高知県知事賞を受賞された樫尾勝弘さんと、(財)8020推進財団理事長表彰を受賞された川村光顕さん・川村サチさんに感想をうかがいました。

【受賞者のコメント】

樫尾勝弘さん(80歳)

応募のきっかけは、歯科医院で「80歳になったら、いい歯の表彰に推薦したい」と言われていたことでした。昔から歯が丈夫で、むし歯ができたことはないです。10年ほど前から、年に2〜3回の歯科健診とクリーニングを続けていて先生や歯科衛生士さんから、丈夫な歯を褒められています。普段のケアは、1分ほど歯をていねいに磨くことです。健康のために、朝には日光浴やストレッチをして身体を動かしています。今も仕事をして元気に暮らしています。



川村光顕さん(87歳)・川村サチさん(82歳)

いい歯の表彰は、香美市の広報を見て応募しました。歯科健診は、後期高齢者歯科健診をきっかけに、年に1回は必ず行っています。市から案内がある健診は受けた方が良いですよ！かかりつけの歯科医院には、受賞した報告をしに行こうと思います。普段のケアでは、歯磨きの後に糸ようじやピンセットを使って、歯の汚れを取るようにしています。健康のために卓球をして身体を動かしたり、食事のバランスにも気をつけています。何でも食べることができて、食べるのが楽しみです。



J R 四国土讃線の高知〜土佐山田間が開通100周年を迎えるため、12月4日に土佐山田駅で、記念式典が開催されました。

式典にはJ R 四国関係者や依光市長や小松議長のほか、沿線である高知市・南国市の両市長が参加し、くす玉を割って100周年の節目を祝いました。また、沿線各市の観光地などが描かれたステッカーがついた記念列車の出発式も行われ、J R 四国高知駅長と3市長らの号令で、記念列車が発しました。



四国電力(株)高知支店が 災害用圧縮毛布を寄贈

12月4日に、四国電力株式会社高知支店から香美市に対し、災害用圧縮毛布20枚が寄贈されました。

四国電力は、社会貢献を目的とした事業の一環として、自治体へ防災関連物品の寄贈を行っています。香美市は令和6年にも、毛布を寄贈していただきました。今回新たに寄贈していただく災害用圧縮毛布は、災害発生時に開設される避難所で使用されます。

▶ 四国電力(株)高知支店総務部地域共生担当部長(左)から目録を受け取る村上副市長(右)



高知県子ども会連合会表彰

11月30日、香美市役所で高知県子ども会連合会表彰式が行われました。香美市からは、子ども会活動の業績が顕著である育成者として、門脇美香さんと門脇正岳さんが表彰されました。

門脇美香さんは、平成24年から香美市子ども会連合会に加入して以来、14年にわたり地域子ども会活動の中心的な役割を担っています。また、「百石南子ども会」代表として香美市子ども会連合会の運営委員になり、各種行事にも積極的に参加し、子どもたちが安全に楽しく活動できるよう尽力されています。

門脇正岳さんは、平成28年から香美市子ども会連合会に加入して以来、10年にわたり地域の子どもたちの健全育成活動に理解を示し、楠目地区の「どんぐり子ども会」会長や香美市子ども会連合会副会長として活躍されています。



▲ 表彰された門脇美香さん(左)と門脇正岳さん(右)

やなせたかし先生寄贈ピアノコンサート

11月22日に保健福祉センター香北で、特別コンサート「やなせ先生寄贈ピアノよろこばせごっこ会」が開催されました。このコンサートは、2000年1月に、やなせたかし先生から同センターに寄贈していただいた一台のグランドピアノを使って行われたものです。

当時、地域の合唱団「柿の実コーラス」は、練習や発表の場でのピアノ不足に悩んでいました。旧香北町役場に購入をお願いするも、財政的に厳しい状況の中、やなせ先生に相談したところ、自らピアノを購入し、寄贈してくださいました。この温かいご支援により、「香北讃歌」をはじめとする多くの歌が生まれ、地域に音楽の輪が広がりました。

当日は、柿の実コーラスや地域の音楽愛好家が出演し、澄んだ音色と歌声が会場いっぱいに響き渡り、来場者から大きな拍手が送られました。

やなせ先生の故郷への深い愛情から生まれたこのピアノは、今もお美しい音色を響かせ、地域の絆を育んでいます。



▲ 団体優勝した香北分署の皆さん
左から中堅：山西晴丈さん、先鋒：奥村隆斗さん、大将：合田周平さん

11月16日、第65回香美市物部町火鎮祭相撲大会が、物部町大柵の八王子宫相撲場で開催されました。

この大会は、昭和32年に大柵地区で発生した大火災を教訓に、二度と火災を発生させないよう祈願する目的で始められたもので、今年は16チーム51名が参加し、熱戦を繰り広げました。

大会結果

【団体戦】	【個人戦】
優勝 香北分署	第1位 横村 学 (物部森林組合B)
準優勝 南国署A	第2位 野瀬 将志 (南国署A)
第3位 南国署B	第3位 藤本 義一 (南国署B)
【技能賞】	【敢闘賞】
大森 伯(南国署C)	小松 勇翔(大柵中学校)